# 新潟から福島から

## 柏崎刈羽原発 再稼働に怒りの声

新潟県にある東京電力柏崎刈羽原発の再稼働に対し、元同県技術委員会委員の立石雅昭・新潟大学名誉教授と、福島県相馬市在住で「生業（なりわい）を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟の中島孝原告団長の談話は以下の通り。

### 安全求める県民を無視

元新潟県技術委員会委員
新潟大学名誉教授
立石　雅昭さん

花角英世新潟県知事が、県議会の自公による「信任」をもとに柏崎刈羽原発の再稼働への地元同意を与えました。即日、東京電力は再稼働と営業運転のスケジュールを公表し、20日に再稼働するとしていましたが、核分裂を制御する制御棒の警報設定ミスが判明し、延期しました。しかし、警報設定の確認作業を終えたとして、再稼働しました。原発の安全を求める県民の意思を無視したこの再稼働に強い憤りを覚えます。

核分裂反応を制御する制御棒に関わって、昨年だけで2回も不具合が発生しましたが、その原因も十分に明らかにされないまま今回の制御棒の警報システムの設定ミスが明らかになりました。この設定ミスは、1996年の6号機稼働以来の30年間気付かなかったといいます。東電はその間の定期点検で同じような試験を行っても、不具合はなかったとしています。この問題も深刻です。17日に発覚した設定ミスで4万ケースに及ぶ膨大なチェックをほぼ数日で終えました。それくらいで終えるのに、定期点検でなぜ見いだせなかったのか！

柏崎刈羽原発の再稼働に対する新潟県民の意思は明白です。昨年11月、県が公表した県民意識調査は極めて恣意（しい）的、誘導的な内容でしたが、〝現状では再稼働の条件が整っていない〟〝東京電力が原発を動かすことは不安〟とする回答が圧倒的という結果です。それを無視し、「再稼働の判断は県民投票で」とする声にも背を向けた、東電や新潟県の県民無視の再稼働ありきの姿勢は直ちに改めるべきです。再稼働を中止し、総点検を行うべきです。

### 事故から学んでいない

「生業を返せ、地域を返せ！」
福島原発訴訟原告団長
中島　孝さん

福島第1原発事故の収束のめども立たないのに事故を起こした東京電力が再稼働を決めるなんて、モラルハザードを起こしているのではないか。事故の被害者として到底受け入れることはできません。

しかも、浜岡原発で地震のデータを都合よくねつ造した問題が発覚したばかりです。原子力規制委員会も外部通報があるまでねつ造を見抜けなかった。原子力事業者に対する過度な楽観主義に陥っていたのではないか、規制委の審査能力に重大な疑義があります。浜岡原発に限らず、すべての原発について再稼働をさせず、安全性の徹底した検証をすべきです。事故を繰り返すことは許されません。

原発事故から15年になろうとしていますが、原発から40キロ圏の福島県相馬市でも経済は肌感覚で悪くなっていて、よくなる兆しは見えません。原発はひとたび事故を起こせば生業も地域も喪失させ、そこで暮らす人々のかけがえのない人生を破壊させます。それがいかに深刻で長期にわたるのか。今もバリケードが張られ、住むことができない広大な土地が残っています。

にもかかわらず原発回帰の方針を掲げ、「原発の最大限活用」を進める政府は事故から何も学んでいないし、事故を忘れるように主導しています。

人の痛みがわかる政治が必要です。原発事故に対する国と東電の責任を引き続き追及し、被害救済を求め、脱原発の実現に向けて奮闘します。

## 長崎を最後の被爆地に

「核兵器禁止条約参加を」のプラカードを掲げ訴える被爆者ら＝21日、長崎市平和公園

### 核禁条約発効５周年　市民ら平和のつどい

長崎の被爆者4団体と市民団体でつくる「核兵器禁止条約の会・長崎」は21日、核兵器禁止条約発効5周年記念の平和のつどいを長崎市で開きました。約90人が参加。「核保有国と『核の傘』に依存している日本などすべての国の政府に、核兵器禁止条約への参加を訴え、紛争を暴力ではなく対話で解決するよう求める」とのアピールを採択しました。

長崎原爆遺族会の本田魂会長は、高市早苗首相の身勝手な解散・総選挙実施や非核三原則見直し発言などを批判し、「長崎を最後の被爆地にとこれからも力を合わせて頑張っていきたい」とあいさつしました。

鈴木達治郎・長崎大学客員教授が「核と戦争の脅威に抗（あらがう）－核廃絶と平和への現実的なアプローチ」と題し講演。各国で核軍拡が進み核使用リスクが高まる中、核保有国と大国による国際法違反の横暴が続いていると指摘。米トランプ大統領になぶいているのが高市政権だと述べ、核保有発言や非核三原則の見直し、原子力潜水艦導入への言及を批判しました。

さらに、核抑止に依存しない安全保障政策の重要性を強調。核抑止は「防御」ではなく、「威嚇・使用」を前提としており、核抑止が効かないと「核の傘」の下にある日本が攻撃される可能性があると述べ、その危険性を広く知らせていかなければと訴えました。

## 解説　再稼働ありきだった政府・東電

東京電力が、柏崎刈羽原子力発電所6号機を再稼働しました。同原発は2007年の中越沖地震の被災原発です。

新潟県が昨年実施した県民意識調査では、「再稼働の条件は現状で整っている」との設問に対し、6割が否定的な答えでした。県民は、再稼働を認めていません。

政府は、福島第1原発事故を起こした東電による再稼働にとりわけ肩入れし、たびたび地元に再稼働への同意を要請してきました。昨年には、原発の最大限活用を盛り込んだエネルギー基本計画を閣議決定し、地元への圧力を強めていました。

昨年10月の県議会では、東京電力の小早川智明社長が10年間で1千億円規模の資金を県に提供すると表明し、1、2号機の廃炉を再稼働後に検討すると表明。経済産業省資源エネルギー庁は1千億円超とされる避難道路などの整備を全額国費で行うと表明しました。

政府と東電は、再稼働ありきで進んできました。

また、県民意識調査では、「東京電力が柏崎刈羽原発を運転することは心配だ」は約7割もあり、東電への不信感を示しています。検査データ改竄（かいざん）、IDカード不正使用、侵入検知器の故障の放置などの問題を繰り返してきたからです。最近もテロ対策文書の不正取り扱いが発覚しています。

6号機の制御棒にかかわるトラブルも今回の引き抜き防止の警報トラブルだけでなく、昨年から立て続けに起きています。東電に原発を運転する資格はありません。（松沼環）

## 制御棒不具合「氷山の一角」

新潟県民ネットが声明

新潟県の東京電力柏崎刈羽原発6号機が21日に再稼働することに対して、「柏崎刈羽原発再稼働の是非を考える新潟県民ネットワーク」は同日、再稼働中止を求める声明を発表しました。

声明は、「再稼働直前になって（6号機の）制御棒の警報機能のトラブルが発覚し、その原因となる設定ミスが30年間放置されていた」と明らかになったことは、「東京電力の技術能力の欠如」だと指摘。

昨年から制御棒関連のトラブルが相次ぎ、「今回のミスは、再稼働の準備や条件が整っていないことを象徴する氷山の一角だと考え」、軽視すべきでないと強調し、東電に対して未解決の課題を解決するまでは原子炉を起動しないことを強く求めています。また、原子力規制庁や新潟県には、県民の安全の確保のため、東電に厳しく対応するよう求めています。

## 今も故郷に戻れない

### 福島 共同センターが宣伝

原発の再稼働に抗議する参加者＝20日、福島市

東京電力が柏崎刈羽原発6号機（新潟県）の再稼働を予定していた20日、ふくしま復興共同センターは、再稼働に抗議する緊急宣伝を寒風吹き抜ける福島駅前で行いました。

17日に同号機で制御棒を引き抜く試験中に、警報が鳴らないというトラブルが発生。20日の再稼働は延期されました。

野木茂雄代表委員は「再稼働はせず、このまま中止すべきだ」と訴えました。

東京電力福島第1原発事故からまもなく15年。原発廃炉のめども立たず、核燃料デブリの取り出しや、ALPS処理水の海洋放出が、廃炉完了としている2051年までに終了する見通しはありません。

野木氏は、住民が自由に出入りすることができない「帰還困難区域」がいまも残され、5万人以上が故郷に戻れていないと指摘。「原発事故は取り返しのつかない被害を今も与え続けている。福島の実態を見れば、再稼働などできるはずがない」と強調しました。

「再び原発事故を起こしてはなりません。その最大の保障は原発をゼロにすること。原発推進の政治を変えよう」と呼びかけました。

再稼働に抗議する緊急宣伝は同日に会津若松市、19日にはいわき市など県内各地で取り組まれました。

## 「謝罪と補償届けて」

### 優生保護法問題　原告側と国が会見

旧優生保護法下（1948～96年）で障害のある人などが不妊手術を強いられた問題で、最高裁での違憲判決を受けて成立した補償法の施行から1年－。補償金を認定された被害者はわずか2%（2025年11月末）です。優生保護法被害全国原告・弁護団などは21日、被害回復の現状と課題を広く知ってほしいと、こども家庭庁と合同会見を国会内で開きました。

会見に先立ち、原告と弁護団らは高市早苗首相と初面会。要請書を手渡し、謝罪を受けました。

会見で元原告の飯塚淳子さん（仮名）＝宮城県＝は、高市氏に自身の苦しみを訴え「早く全員が名乗り出られるように謝罪と補償を届けてほしい」と伝えたと報告。補償法施行から1年がたつが「苦しみから抜ける」ことはできていない。早く優生保護法問題が終わってほしい」と語りました。

弁護団共同代表の新里宏二弁護士は、被害者8万4000人のうち相当数が精神障害のある人で、長期入院している人もいると指摘。「情報がまだまだ届いていない。そこにどう届けるかが課題だ」と話しました。

原告らは、障害者手帳所持者に謝罪と補償法の情報を送付することを求めています。こども家庭庁の中村英正成育局長は、個人情報保護法の壁などがあるとして「何ができるか考えたい」と答えました。

25年1月17日に施行された補償法は、被害者に1500万円、その配偶者に500万円を支給。請求期限は5年です。

## お悔やみ

黒澤　義之さん（くろさわ・よしゆき、東京都北多摩東部地区）19日死去。78歳。通夜は24日午後6時から、葬儀は25日午前10時15分から、いずれも小平市小川東町1の21の12の、あんしん祭典小平小川で。喪主は黒澤康子さん。69年入党。

寺下　栄子さん（てらした・えいこ、北海道上川地区）19日死去。84歳。お別れ会は22日午後4時30分から6時まで、偲（しの）びのときは23日午前10時から、いずれも士別市大通北7丁目の、なかむら斎場さくらホールで。喪主は寺下真さん。63年入党。党支部長。

山田　勝暉さん（やまだ・よしあき、京都左京地区）20日死去。81歳。家族葬を行います。喪主は山田厚美さん。62年入党。元党地区委員。左京革新懇代表世話人。

## インドネシア・スラウェシ島

### 7万年前の洞窟壁画

インドネシア・スラウェシ島で7万年前ごろに描かれた洞窟壁画を発見したと、豪グリフィス大学などの国際研究グループが21日付の科学誌『ネイチャー』に発表しました。これまで世界で最も古いとされている洞窟壁画より1000年以上前に描かれたものだとしています。

スラウェシ島は「k」の字に似ていて、たくさんの島からなる同国でも4番目の大きさ。これまでも南西部の半島にある洞窟から5万年以上前の人の手形や動物などを描いた壁画が見つかっています。研究グループは、これまであまり調べられていなかった南東部の半島と周辺の島々にある洞窟を調査しました。

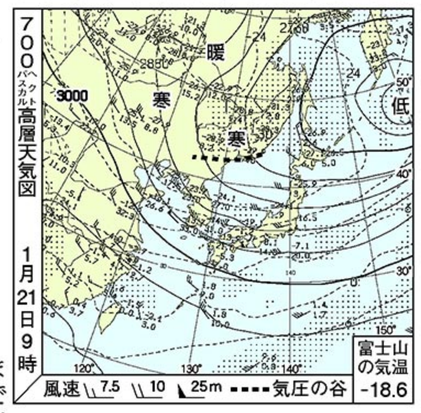
6万7800年前に描かれたことがわかった人の手形（動物の隣の薄く色づいた部分）＝© Maxime Aubert

その結果、この地域でも多くの洞窟から人の手形や動物を描いた壁画が見つかりました。壁画を薄く覆う炭酸カルシウムの層に含まれているウランやトリウムなどの元素を使った年代測定で、人の手形の壁画の中には6万7800年以上前に描かれたものがあることがわかりました。

これまで最も古い洞窟壁画とされていたのはスペインで見つかった6万6000年前ごろのもので、ネアンデルタール人によって描かれたとされています。東南アジアやオーストラリアへの現生人類（ホモ・サピエンス）の到達年代などから、今回見つかった洞窟壁画は現生人類によって描かれたとみられます。

■21日の気温と天候（15時）

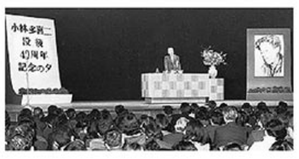
| | 最高 | 平年 | 最低 | 平年 | 天気 |
|---|---|---|---|---|---|
| 札幌 | -2.4 | -0.6 | -5.7 | -6.7 | 晴 |
| 仙台 | 2.2 | 5.4 | -2.6 | -1.6 | 曇 |
| 新潟 | 7.9 | 5.5 | -1.0 | -0.2 | 曇 |
| 東京 | 7.0 | 9.1 | 1.8 | 1.1 | 曇 |
| 名古屋 | 7.3 | 9.5 | -0.8 | 1.0 | 曇 |
| 金沢 | 7.8 | 9.7 | -1.4 | 0.8 | 雪 |
| 大阪 | 7.2 | 9.4 | -0.1 | 2.8 | 晴 |
| 広島 | 6.1 | 9.7 | 1.1 | 1.8 | 晴 |
| 松江 | 8.1 | 8.0 | -0.1 | 1.2 | 雪 |
| 高松 | 3.3 | 9.3 | -1.7 | 1.9 | 晴 |
| 福岡 | 7.5 | 9.9 | 3.5 | 3.7 | 曇 |
| 鹿児島 | 11.9 | 12.8 | 5.6 | 4.7 | 雨 |
| 那覇 | 16.9 | 19.6 | 15.1 | 14.8 | 雨 |




### ハトも寒い　天気

1年の中で最も寒い時期を迎えました。しかし、寒いのは人間だけではないようです。街や公園を歩いていると体を膨らませたハトを目にします。ハトは羽毛と羽毛の間に暖かい空気の層を作ることで、厳しい寒さをやわらげているのです。ハトは暖かい場所を好むため、建物の屋根裏や高架などにいることもあります。なお、頭上からの落とし物には注意しましょう。

『月刊学習』申し込み書
お名前
ご住所
〒
☎（　）
どちらかに○を→　○2月号　○定期購読
どちらかに○を→　○配達　○郵送
ハガキに貼って、あるいはFAXでお送り下さい
●送り先
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
日本共産党中央委員会 出版局
☎03-3470-9636
FAX 03-3470-1505
申し込みはこちらからでも
https://ssl.akahata.jp/zashi/

資料　日中両国関係の悪化をどう打開するか
◎青年・学生の手記　私と日本共産党
自分の考えをもって、社会に向き合いたい　関東甲信越　毛糸
◎連載「しんぶん赤旗」制作中！
電話相談　専門家と協力して解決へ、相談者を励ましながら　栗原千鶴
◎連載　手紙に見るマルクスとエンゲルス
エンゲルスからパウル・エルンストへ
〝唯物論的方法を、導きの糸ではなく、できあいの型紙にすると反対物に転化する〟（1890年6月5日）
◎発掘　あの時、あの写真
「小林多喜二没後40周年記念の夕」――宮本委員長が講演、遺族も参加（1973年）

◎データで見る日本
過労死増加に歯止めがかけられない
科学トピックス
40万年前、人類は自ら火を起こし、活用した　間宮利夫
24日発売　387円（税込み）〒79
月刊学習　2　2026　No.785
日本共産党中央委員会　〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7　編集☎03-5379-2413

誌上再現
『Q&A資本論』（赤本）学習の県・地区委員会の経験交流会

広井暢子 学習・教育局長のあいさつ

七人の発言
愛知県委員会 学習・教育部長　須山初美
宮城県 塩釜地区委員長　阿部　進
岡山県 職場援助委員会責任者　岩佐仁志
東京都 北多摩東部地区委員長　井手重美津子
京都府 左京地区委員長　森下強視
福島県 いわき・双葉地区委員長　熊谷　智
滋賀県委員会 学習・教育部長　川内　卓

質疑応答
広井 学習・教育局長の行動提起
「赤本」学習の魅力と感動を語り、学習を全支部に広げよう

志位和夫議長の発言
『資本論』がいよいよ生命力を発揮する時代がやってきた
第四六回各級講師資格試験――答案についての講評
学び成長する喜びを、党のすみずみに広げよう　学習・教育局
党員現勢での前進に転じた青年・学生分野を、さらに前へ　青年・学生委員会事務局　斉藤嘉久
交流・地区委員会活動――模索と挑戦
真ん中世代の新しい地区役員に聞く
大事にしていること、頑張りたいこと　東京都　松本彩名／滋賀県　川島武志